

東京高齢協 ニュース

2021年1・2月号NO. 183

URL www.t-koureikyou.or.jp
E-mail info@t-koureikyou.or.jp

Pick Up

- 2021年を迎えて
- 第22回総代会報告
- 新年の抱負



2021年を迎えて

理事長 田尻孝二

新たな1年が始まりました。

新型コロナウイルスの感染拡大が私たちの生活に暗い影を落としています。正月の過ごし方もいつもの年とは様変わりです。

皆さまはどのようにお過ごしになられたでしょうか。

楽しみにしていた家族が一堂に会する機会を諦めた方も多いでしょう。高齢者施設に入所されている家族には、面会もできない状況です。

また、年末年始も変わらずサービスに入られたヘルパーさんも多いことでしょう。利用者宅に安心して入れるよう、今後も感染防止対策を徹底してまいります。

コロナ感染予防の要は密を避けることでした。昨年はサロン活動が休止を余儀なくされ、高齢者の生きがい活動やイベントも取りやめになりました。事業所定例会や館長会議も Web 会議に切り替えられています。

コロナ終焉の時期が見えない中、このような状況は当分続くことが予想されます。特に日常の交際を絶たれた高齢者の孤立を懸念します。今年は IT の利用環境のない一般組合員に紙媒体での情報発信を強化します。

組合員の中には実際に会うことができなくても、仲間同士の電話ネットワークでしっかりと連絡を取り合っている方々もいらっしゃいます。特に独居の方は人と話すのが大きな楽しみです。コロナ時、声掛けの輪がもっと広がればと思います。

アメリカの大統領選で言われた社会の「分断」もまた昨年を象徴する言葉でした。日本でもコロナ対策で顕れた、世代、職業などによる意見の相違も一種の「分断」といえます。とりわけ、世代間の意識の違いは高齢者福祉に対する考え方にも反映しています。若者の税や保険料の負担を軽減するためには、高齢者同士の共助の仕組みを地域で充実させていくのが、私たちの使命でしょう。

コロナ感染拡大で今まで気づかずにいた話し合いの大切さを痛感します。同時に多様な組合員で構成されている東京高齢協で、それぞれの部門・事業所間の相互理解が十分に進んでいないことにも気づかされます。今期の事業計画では介護事業の経営改善が最重要課題です。この取り組みは法人全体の視点を持たなければ成功しません。そのためには、介護事業、高齢者施設運営の仕事の中身をよく見ることが、全ての職員に求められています。

事業の停滞とコロナ感染拡大が私たちに大きくのしかかっています。しかし、大きな危機は私たちが一丸となって取り組む機会にもなります。

禍を転じて福となす、来年は笑って語り合える正月を迎えられるようがんばりましょう。

東京高齢協の介護福祉事業所

生活協同組合・東京高齢協	03-5904-9011
東京こうれいきょう	03-5904-9011
東京高齢協 のぞみ	03-3886-3200
東京高齢協 葛飾	03-5629-6405
東京高齢協 世田谷訪問介護青い空	03-5426-6831
東京高齢協 ふじみ	03-6905-7858
東京高齢協 国立地域センター ふぁみり〜・さぼ〜と	042-577-0399
東京高齢協 町田地域センター	042-789-5303

東京高齢協指定管理者受託施設

信濃町シニア活動館	03-5369-6737
上落合地域交流館	03-3360-1414
山吹町地域交流館	03-3269-6189
新宿地域交流館	03-3341-8955
中落合地域交流館	03-3952-7163
高野台敬老館	03-3996-5135
いきがいデイサービス ひなた	03-3577-2800

ためして 脳トレ <答え>

<Q1>

- ①10月 ②1月 ③11月
④4月 ⑤5月 ⑥3月 ⑦2月
⑧8月 ⑨9月 ⑩7月 ⑪12月
⑫6月

<Q2>

- ①年 ②道 ③用 ④参 ⑤形
⑥間 ⑦合 ⑧事 ⑨勝



地域・活動グループからのお知らせ

ふじみサロン	03-6905-7858	★2月中止	板橋区富士見町39-9	ウエキビル
サロン木曾の里	042-789-5303	★2月中止	町田市本町田2507-7ハ-14	
おひさまサロン	03-5904-9011(本部)	★2月中止	四谷三栄町14-5名倉堂ビル	
こめカフェ	03-5426-6831(青い空)	★2月中止	世田谷青い空の隣	
いよよ華やぐ倶楽部	03-5904-9011(本部)	★2月中止		
版の会	03-5904-9011(本部)	★2月中止		
練馬かんらん	03-3999-3343(浜川)	★2月中止		
自分史講座・朗読	080-9380-1204(佐藤)		お問い合わせください	

東京高齢協ニュース

2021年1~2月号

1月15日発行(通算183号)

生活協同組合・東京高齢協
理事長：田尻 孝二
〒170-0005 豊島区南大塚 3-43-12
Tel 03(5904)9011
FAX 03(5904)9012
Mail info@t-koureiyou.or.jp
URL http://t-koureiyou.or.jp/

編集後記

新年を迎えて心華やぐ時に
緊急事態宣言が発令された。
夜八時過ぎの駅前はずっかり暗くなって
しまい寂しい気持ちなる。
それでも、桜の枝にはつぼみが膨らみ始めている。
今朝は沈丁花の紫のつぼみも見つけた。
コロナに関係なく、自然は生きている。
桜のつぼみが開く頃には、今より少しだけ
楽しい日々になることを期待したい。



ためして 脳トレ

Q1 1月から12月の月の異名です。それぞれが表す月を書いて下さい。

- ①神無月(かなづき)→ ②睦月(むつき)→ ③霜月(しもつき)→
 ④卯月(うづき)→ ⑤皐月(さつき)→ ⑥弥生(やよい)→
 ⑦如月(きさらぎ)→ ⑧葉月(はづき)→ ⑨長月(ながつき)→
 ⑩文月(ふむづき)→ ⑪師走(しわす)→ ⑫水無月(みなづき)→

Q2 漢字一文字を入れ、たてとよこがそれぞれ三文字の言葉になるようにして下さい。

<p>①</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td></td><td>新</td><td></td></tr> <tr><td>忘</td><td></td><td>会</td></tr> <tr><td></td><td>度</td><td></td></tr> </table>		新		忘		会		度		<p>②</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td></td><td>鉄</td><td></td></tr> <tr><td>入</td><td></td><td>雲</td></tr> <tr><td></td><td>員</td><td></td></tr> </table>		鉄		入		雲		員		<p>③</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td></td><td>不</td><td></td></tr> <tr><td>御</td><td></td><td>達</td></tr> <tr><td></td><td>品</td><td></td></tr> </table>		不		御		達		品	
	新																												
忘		会																											
	度																												
	鉄																												
入		雲																											
	員																												
	不																												
御		達																											
	品																												
<p>④</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td></td><td>新</td><td></td></tr> <tr><td>表</td><td></td><td>道</td></tr> <tr><td></td><td>者</td><td></td></tr> </table>		新		表		道		者		<p>⑤</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td></td><td>屋</td><td></td></tr> <tr><td>個</td><td></td><td>物</td></tr> <tr><td></td><td>船</td><td></td></tr> </table>		屋		個		物		船		<p>⑥</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td></td><td>世</td><td></td></tr> <tr><td>時</td><td></td><td>帯</td></tr> <tr><td></td><td>体</td><td></td></tr> </table>		世		時		帯		体	
	新																												
表		道																											
	者																												
	屋																												
個		物																											
	船																												
	世																												
時		帯																											
	体																												
<p>⑦</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td></td><td>雨</td><td></td></tr> <tr><td>相</td><td></td><td>傘</td></tr> <tr><td></td><td>羽</td><td></td></tr> </table>		雨		相		傘		羽		<p>⑧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td></td><td>火</td><td></td></tr> <tr><td>大</td><td></td><td>件</td></tr> <tr><td></td><td>場</td><td></td></tr> </table>		火		大		件		場		<p>⑨</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td></td><td>決</td><td></td></tr> <tr><td>大</td><td></td><td>負</td></tr> <tr><td></td><td>戦</td><td></td></tr> </table>		決		大		負		戦	
	雨																												
相		傘																											
	羽																												
	火																												
大		件																											
	場																												
	決																												
大		負																											
	戦																												

第 22 回 通常総代



東京高齢協第22回通常総代会を12月6日（日）ラパスホールで開催しました。今年の総代会は、コロナウイルス感染拡大により総代の多数が書面出席となりました。出席総代は92名（本人4、委任状0、書面88）でした。



議長は、上田総代と吉田総代が務めました。スクリーンの中での議事進行となりました。

田尻理事長からの挨拶の言葉を佐伯理事が代読して総代会が始まりました。

来賓の方々にも今回は出席をご遠慮していただきましたが、全国から多くのメッセージが寄せられました。

いただいたメッセージの一部を小暮理事が披露しました。



東京高齢協で二十年勤続された方々の永年勤続表彰がありました。今回は2名が対象で国立ふぁみり～・さぼ～との大橋正三さんが代表して、高橋副理事長から賞状と金一封を受け取りました。永い間、本当にありがとうございました。

その後、議事に入り福地専務理事が第1号議案から第5号議案までを一括提案しました。

第1号議案 第22期事業報告及び決算報告

第22期は、コロナ禍での事業継続に苦心しました。介護事業所は、ヘルパーさんへの感染防止を行いながらサービスを継続しました。マスク、アルコール、手袋が不足し本部が一括して調達しました。4月27日には神奈川高齢者生活協同組合と共に厚労省に介護従事者の安全確保の具体的な支援を求めました。

緊急事態宣言期間中、指定管理施設は休館となりましたが、職員は交代で館の管理や地域の高齢者の方への連絡を継続してきました。

現在も、職員の体調管理、換気、手洗い、消毒を徹底しています。

第 22 期は、経営改善を最優先課題として取り組みました。黒字化に向けて取り組んだのは、事業経費の削減です。事業経費とは、法人全体を運営するための費用です。年間 265 万円削減しました。

次に小規模事業所の統廃合を行いました。東久留米センターと江東さざんかを廃止し、本部に開設した東京こうれいきょうに統合しました。その結果、人件費、物件費を削減できました。

それにより 22 期末は 610 万の黒字となりました。第 21 期より売上は減少し利益が増えたという状況になりました。

コロナ対策や黒字化対策で疲弊した 1 年でしたが、新規指定管理事業の獲得に館長チームが力を合わせて取り組みました。

介護事業所も「断らない・選ばない」サービスの提供を継続しています。



<直前 3 事業年度の財産及び損益の状況>

単位：円

項目	19 期	20 期	21 期	22 期
組合員数 (人)	1,641	1,648	1,579	1,585
出資金額 (円)	10,091,000	9,943,000	9,544,000	9,328,000
福祉事業収入 (円)	366,637,812	355,969,010	343,517,016	333,722,363
経常剰余金 (円)	8,505,838	▲4,631,528	▲6,217,018	6,454,776
総資産 (円)	141,649,861	133,823,026	117,313,046	128,984,837
純資産 (円)	103,137,353	98,053,865	91,100,063	96,993,389

第 2 号議案 第 23 期事業計画及び予算決定

令和 3 年は介護保険制度改定が行われます。そのような中、第 23 期も介護事業経営改善を最優先課題とします。每期連続して売上が減少している介護事業を立て直し、単独事業として法人運営を賄えるようにします。そのためには、事業所会計の精度を上げ、事業所内で予算達成に向けて情報を共有することが大切です。また、特定事業所加算を取得する、重度者対応を拡大するなど今までの状況を打破するために努力します。

第 3 号議案 日本高齢者生活協同組合連合会からの脱退の件

東京高齢協は、日本高齢者生活協同組合連合会に長年加盟してきました。しかし、2019 年の連合会内部の不祥事対応や会費問題、運営方針などについて、連合会と私たちとの間で違いが鮮明となってきました。理事会や定例会で 1 年かけて検討した結果、令和 3 年 3 月をもって脱退することを決定しました。

全ての議案を提案後、採決に移りました。採決の結果、賛成多数で全議案が承認されました。

第 23 期に向けて全員で頑張っていきましょう。

第 1 号議案 第 22 期事業報告及び決算関係書類等承認 剰余金処分案決定の件	反対 0、保留 1、賛成 89
第 2 号議案 第 23 期事業計画及び予算決定の件	反対 0、保留 2、賛成 88
第 3 号議案 日本高齢者生活協同組合連合会からの脱退の件	反対 0、保留 1、賛成 89
第 4 号議案 役員報酬限度額決定の件	反対 0、保留 1、賛成 89
第 5 号議案 議案決議効力発生の件	反対 0、保留 1、賛成 89

心に寄り添う

介護職の入門資格『介護職員初任者研修講座』を受講しました。通信と通学を組み合わせ4ヶ月で資格取得するコースです。スクーリングの様子を紹介いたします。

「では、チームに分かれてベッドを作ってくださいーい！」先生の掛け声で実習が始まります。

まずはベッドメイキングから。受講生同士が介護役、利用者役となり授業を進めます。

ベッドから車椅子への移乗。着替え・食事・入浴・排泄介助など。日を追うごとに難易度はアップ。

先生のデモンストレーションを必死にメモする生徒たち。ボディメカニクスを活用した動き。

相手と重心を合わせ、移動する方向に足先を向ける。頭で理解しているつもりでも、なかなか思うようにはいきません。「もう一回いいですか？」と何度も同じ動きを練習しました。

グループワークでは介護計画を作成。「発語が困難な利用者さんに、どのように声掛けをしていますか」「3ヶ月後の自宅復帰を目標に段階的なりハビリを提案しましょう」と活発に意見を交わします。

年齢も職業も違う仲間たちとの学びは、新鮮で楽しい時間です。技術以上に求められたのがコミュニケーション能力。チームメイトたちと利用者対応を模索する日々。

13日目は第一回実技評価。試験課題は<ベッド上での着替えと車椅子への移乗を手伝い、面会に来た家族の待つロビーへ案内する>という設定。緊張します！お部屋のドアをノック3回「職員の〇〇です。

入室してもよろしいですか？」から始まる試験。先生が採点表を片手に見守ります。適切な声掛けができたか？過不足ない介護ができたか？10名の生徒が順番に試験に臨みます。2日間の実技評価と最終日の筆記試験に合格すれば修了です。



「介護職は自分を成長させてくれる仕事です」介護士歴20年、という先生。「悲しみのなかにある人にどんな言葉をかけますか？」お話を聴く。背中をそっとさする。一緒に泣く。スタートラインに立ったばかりの私達は答えを見つけることができませんでした。

大切なのは心に寄り添うこと。傾聴、受容、共感、そして尊厳について考えた15日間。

合格発表の日は皆、晴れやかな笑顔。今日は終わりではなく始まり。少しでも成長した生徒たちはそれぞれの道を歩き始めます。支えてくださった皆さん、ありがとうございました。

中落合地域交流館 樋口美枝

第23期第1回理事会報告

日時：令和2年12月17日 13:30～

場所：南大塚地域文化創造館 第1会議室

出席：理事9名、監事2名

【報告事項】

1.組織報告

2.10月会計報告

3.各部会報告

4.労働環境モニタリング報告

【審査決裁事項】

1.第23期役員報酬について

2.パート就業規則変更について

3.給与規則変更について

4.役員報酬規則について

5.次期中期計画について

ふじみでは、今年はこれまで以上に感染予防対策に力を入れ、より安心して利用できる施設づくりを目指します。従来の換気や消毒などは継続しつつ、除菌機や温水器を導入することで環境面も充実させ、対策の強化を図っていきます。



東京高齢協 ふじみ
管理者 田上絢子

昨年は、コロナの件など暗い一年を過ごしました。今年は明るいニュースを期待して、ヘルパー一同とゆっくり突き進んでいきたいと思います。



東京高齢協 葛飾
管理者 鈴木正史

2月20日からスタッフの検温メールが毎朝の目覚まし代わりになるうとは……。各事業所へのアプローチ・地域管理者として長年で得た信頼を効果に代える具体策を持ち2021年を走ります。



東京高齢協
国立地域センター
ふあみり〜・さぼ〜と
管理者 大橋正三



ひなた 代表 小幡真由美

毎日、コロナ禍の中不安を抱えながらサービスに入っているヘルパーの皆様には感謝しています。幸い青い空の利用者様もコロナ感染者がでておりません。コロナの収束の見通しがつかない状況ですが、笑顔で健康に注意し1年を乗り切りたいと思っております。



東京高齢協 青い空
管理者 沼田久美子

みんなに元気を与えられるように、健康で一年を過ごしたい（田上）
元気で頑張っ一年ずつコツコツとやり通します。終わりはいつ来るのだろうか…（上松）

新しい自分を発見したい！色々な利用者様に対応できるよう自分磨きをしたいです（岩楯）

コロナに負けずに継続していけるよう、手洗い、マスク、密に気を付けて頑張りたい（鈴木）

町田地域センター 職員一同



昨年はコロナ騒動で明け暮れた一年でした。今年もいきなり「緊急事態宣言」発令と、良いスタートとは言えない状況ですが、頼りにして下さる利用者様の笑顔を心の拠り所に、感染防止に努めて一年頑張っていこうと思います。



東京高齢協 のぞみ
管理者小暮康子

「東京こうれいきょう」として新たに出発し、半年が過ぎました。サービスを利用している方々が安心して日常生活が継続出来るよう、1つ1つ丁寧に取り組みサービスを提供していきたいと思っております。

東京こうれいきょう
管理者 飯野貴子



新年の抱負

新年明けましておめでとうございます。

今年も様々なことが制限されたり中止となったりしていくなか、コロナ禍の先の新しい未来に期待して焦らず、**牛**のように前をむいてゆっくりと進んでいきます！

中落合地域交流館
館長 吉田和彦



今年も新型コロナウイルスの感染予防を徹底し、高齢者の介護予防や社会参加の拠点としての役割を進めます。高齢者のニーズに応え、居心地の良い館運営を目指します。職員には働きやすい環境を整え、良好な関係を保ちます。

信濃町シニア活動館
館長 豊田昌彦



あけましておめでとうございます。

職員一同、心の3密は避けず、マスク越しも笑顔をお届けます。来館者の口元は見えなくても、きっと笑顔は増えています。今年一年、よろしくお願ひいたします。

山吹町地域交流館
上田賀之



明けましておめでとうございます。

もう少しコロナに用心する日が続きそうですが、一日も早く落ち着き、笑顔溢れる館が戻って来るようお願い、職員一同頑張ってお参ります！幸多き年でありますように。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

新宿地域交流館
館長 石井友恵



新型コロナによって、私たちの平穩はすべてかりそめだということを感じ知らされたこの1年であった。人とのつながり、仕事のあり方、余暇の過ごし方等々、すべてが再構築を余儀なくされている。不便を従容と受け入れ、新たな平穩を構築してゆきたいものだ！

高野台敬老館
館長 高橋龍喜



来年度の攻めは、「スマホ講座」と「たのしい外国語講座」の新規事業2つです。

手すり！よし、椅子！よし、テーブル！よし、ドアノブ！よし消毒すべてよし！！

守りは、鉄壁のチームワークで、新型コロナの撃退です。

上落合地域交流館
館長 佐伯俊悦

